

## 第2次盛岡市自殺対策推進計画(案)に係るパブリックコメント実施結果について

- 1 募集期間 令和5年12月4日(月)から令和5年12月25日(月)まで
- 2 募集方法 市公式ホームページ応募フォーム、郵送、FAX、持参
- 3 受付意見数 4件(3人)
- 4 反映区分 A:計画等に盛り込むもの 0件  
           B:計画等に盛り込み済みのもの 1件  
           C:計画等に盛り込まないもの 0件  
           D:その他、要望・意見・感想など 3件

### 5 意見の趣旨と市の考え方

No	項目	意見の趣旨	盛岡市の考え方	反映区分
1	計画全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電話相談する人は「自分は生きたい」という気持ちがあり、電話相談の対応技術が問われる。</li> <li>・ リスクが高いほど、電話対応で信頼関係を作り、出来るだけ対面をすすめる。</li> <li>・ リスクが高いほど、電話相談は夜中から朝方に多い。専門医につなげるシステムが必要。</li> <li>・ インターネットの活用</li> <li>・ 個別対応と同時に集団に予防を働きかける工夫が必要ではないか。(小グループの心理テストなど)</li> </ul>	<p>御意見のとおり、相談に携わる人がゲートキーパーとなる知識やスキルの向上を図ることも必要と考えます。</p> <p>第2次盛岡市自殺対策推進計画(案)では、市民や職域のほか、様々な分野で相談業務に携わる人を対象としたゲートキーパー及び心のサポーター養成について、新たに成果指標・目標値を設定し、強化して取り組むこととしています。</p> <p>また、多様な手段を活用し、相談窓口の周知やこころの健康に関する普及啓発に取り組んでまいります。</p>	B

No	項目	意見の趣旨	盛岡市の考え方	反映区分
2	計画全般	資料の示す数字は大切な大切な命である。支援窓口があるとはいえ、細部まで届かないからこそその結果であり、救える手を貸せるのは人間だということを忘れないでほしい。	御意見のとおり、自殺対策では、悩んでいる人に寄り添い、人との関わりを通して「孤独・孤立」を防ぎ、支援することが重要と考えます。 悩みを抱えたときに、1人で抱え込むことのないよう、関係機関と連携し、情報発信方法を工夫しながら相談窓口の周知に努めてまいります。また、1人でも多くの方がゲートキーパーとしての意識を持ち、身近な人から相談を受けたときに適切な対応ができるよう、ゲートキーパー養成の取組を強化して推進します。	D
3	計画全般	すべての人が心から健やかな心、体、愛の中で生活でき、自然と言葉や趣味や仕事を通し社会へと還元がうまれていくように、願っています。自死ゼロをどうか盛岡から、日本から、世界へと広がりますように。	個人の抱えている問題の解決はもとより、社会全体の自殺リスクを減らすために、多くの関係機関の社会資源との連携を図り、共に支え合う地域づくりを進め、自殺対策を総合的に推進してまいります。	D
4	若年層対策	毎月1日の「心の日」の取組や、児童生徒のSOS出し方に関する教室を実施しているとのこと、とても賛成です。純粋な子どもの心を大切に大切に育んでください。	若年層対策の取組として、辛いときや苦しいときには助けを求めてよいということを学ぶSOSの出し方に関する教育や、心の健康に関する教育について、第2次計画においても強化して取り組んでまいります。また、教職員が、子どもの心の危機に気づき、受け止め、適切な対応ができるよう、SOSの受け止め方に関する普及啓発を推進してまいります。	D